第 2 章

インストール手順

2.1 ファイルの展開

まず，インターネットから取得したファイルを展開します．ディレクトリには，以下のものが含まれています．

ディレクトリ名	内容
browser	ブラウザ本体 + 設定ファイル
dtrans	辞書トランスレータ
src	ソースコード一式

Windowsからのシステム起動には，以下の 2 つの方法があります．

ファイルマネージャから起動

プログラムマネージャから起動

ファイルマネージャから起動する場合には，適当なディレクトリに実行ファイルと設定ファイル (edbrow.exe, edbrow.ini, code.tbl) をコピーするだけで，他に必要な作業はありません．ただし，起動には，まずファイルマネージャを起動して，必要な実行ファイルを探す，という手間が必要です．頻繁に起動する必要のあるツールは，プログラムマネージャに登録し，ここから起動する方が便利です．

以下のインストール手順では，システムをプログラムマネージャに登録する方法を述べます．

2.2 ブラウザのインストール

browserディレクトリにある，edbrow.exeが実行形式です．

最初に，ファイルマネージャなどで，browserディレクトリにある全てのファイルを適当なディレクトリにコピーした後，Windows 3.1上でアプリケーション登録を行って下さい．

まず，必要があればグループを作成します．グループ作成の手順は，Windowsのマニュアルを参照して下さい．その後，EDBroW を登録します．手順は以下の通りです．

- プログラムマネージャを起動し，登録したいグループを開く．
- [アイコン] – [登録とグループの作成] を選択する．
- ダイアログボックス上で，「アイコンの登録」を選び，【OK】をクリックする．
- 図 2.1 に示すダイアログボックスで，必要な情報を入力する．

最低限，「コマンドライン」に，edbrow.exeのフルパス名を入力すれば OK です．必要ならば，タイトル，ショートカットキーなども指定して下さい．その際，「実行時のディレクトリ」は

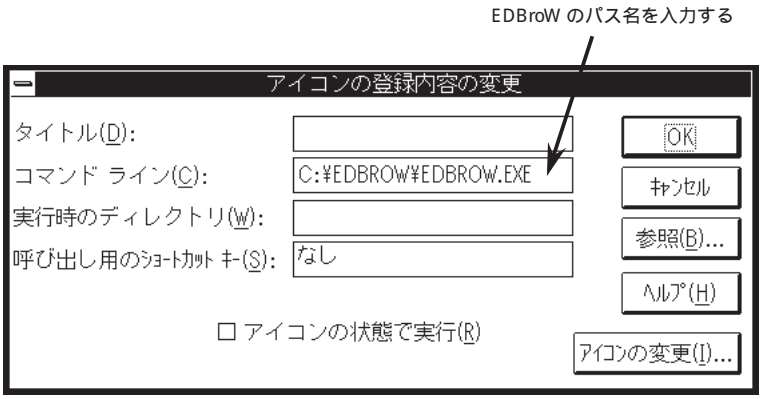

図 2.1 アイコンの登録

入力しないで下さい（自動的に，edbrow.exeのあるディレクトリになります）．実行時のディレクトリを指定することも可能ですが，その場合，指定されたディレクトリに，システムの初期化ファイル（EDBROW.INI ）がなければなりません．また，ユーザ情報ファイルも，実行時のディレクトリに格納されることになります．

最後に，【OK】をクリックすれば，登録は完了です．

以降は，プログラムマネージャからアイコンをダブルクリックすることにより，システムを起動できるようになります．

2.3 辞書トランスレータのインストール

Windows版では，dtransディレクトリにある，dtrans.exeを適当なディレクトリにコピーし，ブラウザのインストールと同様の手順で，アプリケーション登録を行って下さい．その際，実行時のディレクトリには注意して下さい．Windows版辞書トランスレータでは，作成される辞書のパス名を指定することもできますが，デフォルトでは，辞書は dtrans.exeがあるディレクトリに作成されます．

UNIX 版では，dtransディレクトリにあるファイル dtransを適当なディレクトリにコピーし，このディレクトリにパスを通して下さい．なお，このディレクトリにある dtransは，Sun SparcStation + SunOS-4.1.3用にコンパイルしたものです．これは，Sun SparcStation + Solaris 2.3 でも動作は確認しています．それ以外の UNIX ワークステーションでは，トランスレータをコンパイルし直す必要があります．

トランスレータの構築方法については，2.4を参照して下さい．

2.4 ソフトウェア構築手順

本節では，ソフトウェアの構築手順について記します．通常は，提供されている実行形式のファイルで問題なく動作しますので，本節の説明は読まなくても結構です．

ソースコードを変更したい場合，あるいは，Sun SparcStaion以外の UNIX ワークステーションで dtransを利用したい場合には，ソフトウェアを再構築する必要があります．その場合は，以下の手順に従って構築して下さい．

2.4.1 ディレクトリの構成

srcディレクトリには，以下のものが含まれています．

ディレクトリ名	内容
browser	EDBroW ソースコード一式
dtrans	辞書トランレータ・ソースコード一式
→ unix	UNIX 版トランスレータ
→ windows	Windows版トランスレータ
search	辞書検索ライブラリ・ソースコード一式

Windows上でのソフトウェア構築には，Microsoft Visual C++ Ver 1.0 Professional Editionが必要です．

2.4.2 辞書トランスレータの構築

辞書トランスレータは，UNIX 版と Windows版の2種類があります．それぞれにソースを用意してありますが，ファイルが MS-DOS 形式 (SJIS) であるか，UNIX 形式 (EUC) であるか，の違いしかありません．

UNIX 版

makeで，dtransコマンドが作成されます．SunOS-4.1.3附属の Cコンパイラ，および gcc-2.5.8 で動作確認を行っています．

Windows 版

- Windows 3.1上で，Visual C++ を起動する．
- プロジェクト dtrans.makを開く
- ビルドする．

※ プロジェクトを開く際に，「プロジェクトが元のディレクトリから移動しています．依存関係を生成します」というメッセージが表示されますが，問題ありません．

2.4.3 辞書検索ライブラリの構築

必要があれば，ブラウザ構築の前に辞書検索ライブラリを構築します．提供されるソースでは，すでに構築されたライブラリ (edsrch.lib) がディレクトリに含まれていますので，ブラウザのみの再構築の場合は，ライブラリの構築は必要ありません．

ライブラリの作成手順は，以下の通りです．

- Windows 3.1上で，Visual C++ を起動する．
- プロジェクト edsrch.makを開く．
- ビルドする．

これで，edsrch.libが作成されます．

※ なお，edsrch.libは，EDBroW からの利用を前提に作られていますので，それ以外の用途で利用する場合には不都合が生じることがあります．したがって，他の用途で利用する場合には，ライブラリの再構築が必要です．詳しくは，ライブラリのディレクトリにある，readme.{euc,sj}を参照して下さい．

2.4.4 ブラウザの構築

以下の通りです．（先に，辞書検索ライブラリが作成されていることを確認して下さい）

- Windows 3.1上で，Visual C++ を起動する．
- プロジェクト edbrow.maを開く
- ビルドする．

※プロジェクトを開く時に，「外部メイクファイルですか」と聞かれますので，【はい】をクリックして下さい．